

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 開会宣告
- ・ 議題の確認

1 閉会中継続調査事件

(1) 児童・生徒の学力向上に向けた取り組みについて

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件については、前回の委員会において、当委員会の調査事件とすることが確認されたが、その際、各委員から、学力調査の結果、数字だけを学力として捉えると狭い範囲となる、児童・生徒が主体的に発言する、自ら学ぶ、自分の言葉できちんと話すといった力も学力である、学力に焦点を絞りつつも学力とかかわりのある生活全般も意識しながら調査してはどうかなどの御意見があった。そこで本日、具体的な調査に入る前に、学力の捉え方について委員会として共通認識を持ちたいと考えている。その後、本市の現状について調査を行い、各委員から、本件について御発言いただきたいと考えているが、そのような進め方でよろしいか。（異議なし）
- ・ 本件について正副で資料を調製しているので、事務局に配付させる。

（事務局 資料配付）

- ・ 資料 1、2、3 とある。学力の捉え方について資料 1 をごらん願いたいと思うが、資料については、事務局に説明させる。

○議会事務局議事調査課主査（寺村 日出人）

- ・ 資料説明：資料 1 学力についての基本的な考え方（平成28年 7 月25日 正副調製資料）

○委員長（工藤 恵美）

- ・ お聞きのとおりである。皆さんとともに共通認識として、学力の捉え方については、法に基づいて、当委員会としても、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、主体的な学習態度、この学力の 3 要素を意識しながら調査を進めてまいりたいと思うが、よろしいか。（異議なし）
- ・ 次に、資料 2 に関して事務局に説明させる。

○議会事務局議事調査課主査（寺村 日出人）

- ・ 資料説明：資料 2 函館市における学力向上推進の現状（平成28年 7 月25日 正副調製資料）

○委員長（工藤 恵美）

- ・ お聞きのとおりである。函館市における学力向上の現状である。前回の委員会で、学力に焦点を絞りつつも、学力とかかわりのある生活全般も意識しながら調査してはどうかとの発言もあったので、平成27年度の全国学力・学習状況調査における質問紙調査結果概要というのがあり、これを資料 3 としてお配りさせていただいた。これに関してはじっくりごらんいただきたい。一般質問でも学力向上について質問されている委員がたくさんいらっしゃったと思うが、函館市の子供たちは、テレビゲームやテレビやビデオを見ている時間が非常に他都市に比べて多いという発言もあったが、そういう結果も出ているので見ていただきたいと思います。

- ・ 以上、函館市における学力向上推進の現状について説明させていただいた。資料２の上段の最初の四角の②のところだが、「自ら学び、考え、問題をよりよく解決する力の育成」が、本件調査の焦点になるものと考えているので、この点に絞って調査を進めていきたいと思うが、よろしいか。（異議なし）
- ・ 本市における学力向上推進の現状について、各委員から何か発言あるか。

○出村 ゆかり委員

- ・ 私も前回、一般質問で学力だけではなく生活全般について質問する中で、いろいろと調べた。その中で、一般質問の中には含まれなかったが、とある小学校の校長先生から話を伺うことができて、最近の学力の傾向としては、上位グループと下位グループ、それで真ん中が少ない。本当に二極化、山が２つ、そういった状況である。上位の子たちは、家族も一生懸命であるし、本人もそれ相応に期待に応えるために頑張っている。真ん中がそれほどいなくて、下位グループも上位グループと同じ位の割合でいる。ここは家族もやはりどうすることもできないし、どうしてあげることもできないということで、この二極化がすごい激しく出ているということを聞いた。なので、学力向上、テストの結果が昨年度の議会でも話があったように、嘆かわしい事実であるということで市長もおっしゃっていたが、果たして、お子さんを含め親御さんも含め市民全員が望んでいるかどうかというのは私ははてなのかなと。上位の人たちは未来を思ってとか、将来を思ってだけでも、下位グループにいるという、ちょっとこれは極端な話かもしれないが、目指すところはどこなのかがまずはっきりとしていないというか、学力だけの問題ではないのではないかという、その奥に潜んでいる部分、貧困の部分だとか今いっぱい出てきているが、そういったことで、濃い、テーマとしては深いのではないかなということで。前回も申し上げたが、このテーマとして、「自ら学び、考え、問題をよりよく解決する力を育成する」、これは永遠に、子供だけに限らず大人になってもこれは必要なことなので、このテーマでいくとするとすごくいいことだと思う。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 私たちの実生活の中からは、児童・生徒と離れた生活を送っているわけだが、しかし少子化である昨今では、地域で子供たちの未来を守るということも大切な、国の考え方としても子育ても教育も、それから高齢者対策においても、地域で見守るというふうに変わってきているようにも感じるので、函館の子供たちのためになるようなことを皆で考えていきたいと思ってこのテーマを選んだ。
- ・ 出村委員の発言も含め、次回、本市の課題・問題点について、改めて各委員から御意見を伺いたいと思うので、よろしくお願いします。
- ・ その他、本件について、各委員から何か発言あるか。（なし）
- ・ 議題終結宣告

2 その他

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 次に、２のその他だが、各委員から何か発言あるか。（なし）
- ・ 散会宣告

午後 3 時58分散会